

茨城県立中央看護専門学校の4年制化について

県では、茨城県立中央看護専門学校（笠間市）における看護学科3年課程の修業年限を1年延長し、2026年度から県内初となる4年制化に移行する予定ですので、お知らせします。今後、新たなカリキュラムを策定し、実習時間を増加させるなど教育内容を充実させ、これからの社会・医療に対応した看護師の養成に取り組んでまいります。

併せて、全日制のニーズが減少傾向にある准看護師向けの看護学科2年課程については2024年度入学生をもって廃止する予定です。

1 背景

- ・高齢化や社会のニーズの変化による患者の多様性・複雑性に対応するため、看護師はこれまで以上に幅広い知識や実践力の向上が求められている。
- ・求められる知識に対応するため、看護教育の座学時間の増加により、実習時間が短縮され、実践力の向上やリアリティショック等による新人看護師の離職防止が課題となっている。

2 取組内容

より質の高い看護師養成のため、茨城県立中央看護専門学校の看護学科を見直す

- ◆看護学科3年課程→茨城県内で初めて4年制化（2026年度から）
- ◆看護学科2年課程→2024年度入学生を最後に廃止

3 4年制化により期待する効果

- （1）高度人材化 教育内容の充実化により、より質の高い即戦力となる看護師を養成する。
- （2）待遇改善 学士相当の高度専門士の資格により、新卒看護師の初任給が大卒同等程度となる。
- （3）定着率向上 実習の拡充による就職後のリアリティショックを軽減し、離職防止を図る。

4 スケジュール

2026年度から3年課程を4年制化し、2024年度入学生を最後に2年課程を廃止する。

年度	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
看護学科 (4年制) 定員 40名			最初の 学生募集	第1期生 入学	⇒	⇒	第1期生 卒業
看護学科 3年課程 (現行) 定員 40名	⇒	最後の 学生募集	2025年度生入学	⇒	2025年度生卒業		
看護学科 2年課程 定員 40名	最後の 学生募集	2024年度生入学	2024年度生卒業				

5 茨城県立中央看護専門学校の概要

○所在地 笠間市鯉淵6528

○校舎 実習棟（2階建）、講義棟（3階建）

○課程 ①助産学科、②看護学科3年課程、③看護学科2年課程

○学生数 2024年4月1日時点で166名の学生が在籍している。

学生数（定員数）	助産学科	看護学科3年課程	看護学科2年課程
1年生	20名（25名）	40名（40名）	10名（40名）
2年生	—	40名（40名）	22名（40名）
3年生	—	34名（40名）	—
計	20名	114名	32名

※助産学科については変更の予定なし